

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和5年度・第8回）議事概要

日 時 令和6年（2024年）2月14日（水）14：00～16：00

場 所 中央公民館 203・204学習室

出席者

<まちづくり協議会>

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長	●	
宝塚市光明地域まちづくり協議会	小林 敏明副会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	
まちづくり協議会コミュニティ末広	豊田 茂男代表	●	
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長	●	
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会	押条 雅英代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	岡田 英里副会長	●	
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長	●	
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表		
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	安達 みづほ代表	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	前田 幸夫会長		
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長	●	

<その他>

市民交流部 加藤部長

市民交流部きずなづくり室 浅井室長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長他

人権男女共同参画課 池澤係長

宝塚NPOセンター 平岩氏

傍聴者 なし

## 議事概要（要旨）

### 1. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和5年度・第7回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。

### 2. 防災を考えるワークショップのご案内・地域における男女共同参画の推進について（人権男女共同参画課）

人権男女共同参画課より、標記の案について、配布資料に基づいて説明があり、以下の通り、質疑応答があった。

ア このような研修会は定期的開催しているものか。

イ （市）平成29年度から毎年実施している。

### 3. 地域活動デジタル化情報交換会（ワークショップ）アンケート結果の共有

市民協働推進課より、標記について、資料の共有と概要の説明を行ったのち、以下の通り、質疑応答があった。

ア 会場のデジタル環境を整備することを第一優先で行ってほしい。

イ もうちょっと聞きたかった。また、各まち協の担当者同士で何か分からないことがあった際にLINE等を活用してすぐに聞ける場があれば良いと思う。

### 4. 地域活動きずな研修アンケートのご依頼

市民協働推進課より、配布資料に基づき、アンケート提出の依頼があった。また、回答期限が「令和6年3月22日（金）」である旨、訂正があった。

### 5. 地域ごとのまちづくり計画

#### (1) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会の対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった。

#### 【未成】

ア 基本的には、話し合っただけの状態に進んでいない。これまでは協議をしても担当者が変われば記録に残らない部分があったが、今回対話の仕組みを活用したことで、今後改善されるか見ていきたい。p.33について、市民と行政の連携したリスク管理体制の確立が必要であると思う。P.35について、ドッグランの管理上の問題で新設はあきらめることとしたが、河川敷利用者へのマナー啓発は進めていきたい。P.37について、資源ごみの盗難について、行政の監視の効果がない状態であり、市として警察への通報などの体制作りが必要であると思う。P.39について、地域でできることを固めて、今後ボランティアを募っていく予定。また、

担当課から提供のあった資料を基に研修を行うなどボランティアの支援を行っていきたい。

**【意見交換】**

- ア P.41 育児ファミリーサポートセンターの窓口はどこか。
- イ (未成) 子ども家庭支援センターが管轄である。
- ウ ニーズは分かったが、具体的な対応はどういうイメージで考えているか。
- エ (未成) 地域でボランティアを募集しようと思っている。有償・無償については、今後の検討だが、できるだけ地域でサポートしてもらう人を探す。西谷でもボランティア輸送を実施されている。(報酬は) 高くないにしても、有償ボランティアとして、かかった費用等について受益者に負担してもらうかたちも含めて考えている。
- オ 千葉県の流山市は市がそういった対応をしているが、(市へ対応を) 求めないのか。ボランティアが集まる確証はあるのか。
- カ (未成) 現時点で確証はない。ニーズ全てに対応できなくても、できる部分があるのではと思っている。サポートが必要というときに、ご近所同士で声を掛け合える関係が作れたらと思っている。
- キ 市としてそういった事業をして、子育て世代が来るように注目されている地域がある。宝塚市でもそういったことをしてほしい。

**(2) (※再周知) 令和5年度進捗確認の実施について**

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づき、再周知があった。

**6. 地域活動について**

**(1) 魅力的・特徴的なまち協活動(多様な時代の参加につながった事例、負担軽減・事務効率化を図った事例等)についての紹介・質疑応答(安倉)**

**【コミュニティ安倉】**

(発表)

青色ランプを付けて地域内をパトロールする取り組み(青パト)を実施している。中山台でも実施されている。県へ申請を出し、講習を受け、パトロール実施者証を持った人がパトロールを実施できる。この地域は防犯意識が強い地域であるということを示すことで防犯につながるとしている。パトロールの時間やルートを変えるなど地域の皆さんに関心を持っていただけるようにしている。なかなかメンバーが集まらないという課題もある。補導委員、PTAとも連携をして、地域全体で取り組んでいきたい。

(質疑応答)

- ア 一回のパトロールの所要時間は。事故があった時の対応は。
- イ (安倉) 徐行運転等事故がないように注意している。ボランティア保険には入っているが、特別な保険は入っていない。所要時間は小一時間程度。
- ウ 回数と時間帯は。

エ (安倉) 自身が退任する前は補導委員のパトロールと併せて、月に 3~4 回実施していたが、減ってしまった。現在、補導委員や PTA に声を掛けており、今後増えていくのではと思っている。

(2) (1)の他、地域活動についての情報共有・意見交換

特になし。

7. 市民協働推進課からのお知らせ

市民協働推進課より、以下(1)~(2)について、周知を行った。また、(1)については以下の通り、質疑応答があった。

(1) (※再周知) 市制 70 周年記念 市民活動支援補助金について

(質疑応答)

ア 事前準備で令和 6 年 3 月以前に支出した経費も補助対象になるか。

イ (市) 事前にご相談いただきたいが、対象にできると思う。

ウ 具体的な計画が決まっていない場合はどうすればよいか。

エ (市) ある程度具体的に決めていただく必要はあるが、進める中で修正があってもある程度柔軟性をもって対応できると思う。

オ 市制 70 周年を謳う必要があるのか。

カ (市) ロゴマーク・市制 70 周年事業である旨の表記をチラシや看板で使用する必要がある。また、お祝いの要素も入れてほしい。

キ ロゴマークは必ず使用しなければいけないのか。

ク (市) 必ず使用してほしい。

ケ 市が行う事業は決まったか。

コ (市) 表彰等がある。議会が終われば、一覧表のようなものを発表できると思う。

サ 2, 3 月に実施するイベントでロゴマークの周知をしてよいか。

シ (市) ロゴマークの使用については、市民活動支援補助金の交付が確定すれば、使用許可が下りるが、その他で使いたい場合は、別途使用許可の申請をする必要がある。

ス もう少しパツとしたことを考えられないか。市内すべての駅で市制 70 周年を PR する等。

セ (市) 市制 70 周年事業の具体的な内容は、令和 5 年 7 月頃に方針を決めた後、各部で何ができるのか案を出し、審査を経て、決めてきている。決める過程でどこまで市民の声が聞けていたか等色々な意見も出てくると思う。どこまで反映できるかは分からないが、担当課に声を伝える。

ソ 周年行事は過去 10 年間の振り返り、今後の 10 年間のビジョンを掲げることだと思う。先ほどの話題に出た流山市は「子育てするなら流山」ということで、子育て世代が増えている。(市は) そういった旗を振ることが必要。

お祝いイベントはお祝いしたいという気持ちで市民自ら行われるべきもの。お金

をもらってするのはお祝いではない。同じく 70 周年を迎える近隣市の事業と比べるともう少し工夫が必要だと思う。ビジョンが見えないと、これからの 10 年、市民はどうしたらよいか分からない。

- タ 全くその通り。過去を振り返るより、今後のビジョンが大切だと思う。各地域に地域ごとのまちづくり計画を作れというのが、宝塚市にどういうビジョンがあるか分からない。祝うというよりも、どういう宝塚を目指すのか、に力を入れてほしいと思う。
  - チ (市) これまでも、宝塚市の目指す方向性がわからないという声はいただいていたと思う。おっしゃるとおり、地域ごとのまちづくり計画を策定いただき、仕組みも整備した。市の計画としては、総合計画があり、10 年間の市の最上位の計画であり、宝塚市の今後目指す方向性を記載している。それが伝わっていないことは、反省すべき点だと思う。市制 70 周年事業はそれとは別にどういった事業をするのか検討して決めている。また機会があれば、総合計画を知っていただくお時間をいただけたらと思う。  
市制 70 周年事業について、ホームページ（令和 6 年度当初予算資料）に事業の一部が掲載されている。
  - ツ ホームページ掲載すればよいという考えはやめてほしい。別の告知方法が必要だと思う。
  - テ (市) もちろん、ホームページに掲載するだけで良いとは思っていない。さまざまな媒体（広報たからづか、マスコミ、ロコミ、SNS 等）を駆使して情報発信をしていきたい。
  - ト 市制 70 周年記念事業について、教育委員会等を通して、子ども達への発信はされているか。
  - ナ (市) 個別の事業については、それぞれ必要な媒体で周知を考えている。市制 70 周年事業の全体像の周知自体はどこまでされているのか把握ができていない。知っていただくことの大切さは当然だと思う。周知を丁寧にやっていけるように今日いただいた意見を私も理解して、所管している部署に共有する。
  - ニ お願いがある。市全体でするのであれば、子ども達まで情報が伝わるようにするべきだと思う。
  - ヌ 宝塚市がどの方向を目指すのかを長文で書かれても市民は分からない。一番重要なのはキャッチフレーズ。2 つや 3 つあってもいいと思うが。誰もが宝塚市の目指す方向が分かるような短い言葉を作って、浸透させる必要があると思う。伝わり方をもう少し考えるべき。
- (2) 第 30 回 障害者週間記念事業実行委員会における委員推薦 について（お礼）（障碍福祉課）

## 8. 宝塚NPOセンターからのお知らせ

宝塚NPOセンターより、以下について、周知があった。

- (1) (※再周知) 若い世代で楽しいまちを考えるワークショップの開催について(市委託事業)

## 9. 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

宝塚市社会福祉協議会に代わり、市民協働推進課より、以下について、周知があった。

- (1) フードドライブ交流会について

## 10. その他

- (1) 市長とのタウンミーティングについて

ア 【山本山手】タウンミーティングの申込をしたが、実施に向けた詳細をつめる中で、納得できない部分があった。人数制限は分かるが、「この場に来てほしくない人がいる」といった文言があった。市民との交流と思っていたので、それではする意味がないと断った。当地域の市会議員から議会質問であげてもらい、担当課から説明、謝罪があった。思いの行き違いがあると感じているが、他のまち協さんのタウンミーティングへ対する感想や考えをききたい。

イ (座長)タウンミーティングを開催したまち協はあるか。⇒5まち協のみ。タウンミーティングを実施してどう思ったか。

ウ はっきり言って、がっかりした。宝塚のいいところ、悪いところはどこかという一方的なコミュニケーションだった。こちらは準備していったが、現場の本音を言うことができなかった。形式的で実りがなかったと考えている。こういうタウンミーティングであればやらなければ良かったと思う。山本山手の意見は当然かと思う。意見をくみ上げるのが本来のタウンミーティングであると思う。

エ 事前に市に対する要望は控えてくださいと言われた。どうしようか考えたが、地域がすること、市にやってほしいことは最低限伝えてもよいだろうとなったが、2度にわたって市長の都合で延期され、3度目の調整はやめた。今改めてやはり要望は聞いてほしいと思う。

オ 担当者から要望を聞く場ではないと、2、3回メールで連絡が来たこともあり、最初からあまり期待していなかった。自己紹介シートを作成して、市長と人となりを知りあえたらというくらいの気持ちで行った。市長に地域から意見があるということは知ってもらった方が良く考えており、(市の)進め方は失礼だったのではと思う。

カ 当地域は実施していない。中川前市長の時に実施したが、市長が要望を聞いたとしても、各担当課へ下りることになる。時間も掛かるため、お金の無駄遣いだと思う。やらないならやらない、やるならきちんとやるべきだと思う。無

駄な税金を使わないでほしい。

- キ タウンミーティングを要望した際に、どういう宝塚市にしたいのか、まずは市長の話聞かせてほしい、それに対して地域が意見を言う場にしたらどうかといった。ただ、実際に始まると、宝塚市の良いところと悪いところを教えてくださいという質問で、「今更か。」と思った。市制70周年記念事業もそうであるが、宝塚市をどうするかを示し、各地域の考えをきくという内容であれば意味はあると思う。
  - ク (座長) 市長の宝塚市をどうしていくのかというビジョンがない中でタウンミーティングを行って、地域の不満を買っているということを市長室に伝えてもらえたら良いと思う。
- (2) 宝塚市自治会補助金について
- ア 宝塚市自治会補助金の制度を見直すということで進められていると思うが、状況を教えてほしい。各自治会に説明を行ったのか。
  - イ (市) 現在、自治会の連合体に説明を行い、さまざまなご意見をいただいている。各単位自治会への周知はこれから行う。内容は、交付額の差を見直す、条件としている情報提供・推薦・事業協力を見直す予定。今後お知らせをしていく。時期は庁内的な周知は3月に行うため、3月頃になると思う。決定は議会で諮り、予算が確定してからの実行となる。
  - ウ 無所属の自治会に対して、3割増額することで、これまで連合体に依頼していた情報提供・委員推薦等の依頼は直接自治会に依頼するのか。
  - エ (市) 情報提供については、ホームページ、それが難しいところは紙も併用になると思うが、負担軽減になるように考えている。委員推薦は補助金交付の条件から外す予定で考えている。

## 11. 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の開催予定について周知があった。